
さあ人生を楽しもう

たんそくレトリバー

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

さあ人生を楽しもう

【Nコード】

N4287Z

【作者名】

たんそくレトリバー

【あらすじ】

平和で無害に生活していた男が気がついたら異世界に、
だけど気にすることもなく異世界で平和に生きていく話。（本人談）

だが異世界はその常識を持たない男の非常識な行動が原因で人間、
魔族問わず巻き込まれていく。

ギャグやらバトルやら悪知恵やらいろいろ詰め込むつもりですが、
なにぶん初投稿なのでいろいろ不手際があると思います。それでも

良しとすべし方はよしぞう覧くだれし

第一話 千本ノックと閃光魔術

なんかいきなり目の前が真っ白になった。

何だよ誰だよいきなり俺の目の前で閃光手榴弾破裂させた奴、

スタングレネード

こんないたいけな一般人に非常識なもん使っんじゃねえよ

ちよつと豪華客船に潜入して乗組員簞巻きにして海に放り投げたり
半殺しに

スニッキング

したくらいで大きすぎだろーが、もうちよつと常識ってもんを考
えろよ。

やった奴出てこいよ千本ノック（守備位置バッテリーとの距離3M以
内）で根性叩き直してやるからよ、

とかなんとか考えてたらようやく視界が回復してきた。

さあて、どんな仕返しがいいかなあ。

少しずつ視界が開けていく中、俺はそこでふと視覚以外の五感で違
和感を感じた。

おかしい

さっきまでしていた潮の香り、波の音が消えている

肌を感じていた風もいきなりやんだ

自分は間違いなく船の船首甲板にいたしここは海のと真ん中、突然船の揺れが止まるはずもない。

どう考えてもおかしい

有り得ない事態に本能が警鐘を鳴らし即座に行動できるよう体勢を整え、周囲への警戒レベルを

最大まで引き上げつつ視力が回復するのを待った。

そして視覚が完全に回復してその違和感は決定的になった。

「は？」

隣から間抜けな男の声が聞こえた

なぜかそこは船の上ではなく石造りの大きな部屋の中央だった。

「な、なんだ、何が起きたんだ！」

隣の男が騒ぎ出す

身なりからして高校生くらいか

ぱっと見かなり整った顔をしている

身長は170位、スマートっていう言葉が良く似合う体格をしている
少なくとも女に困ってることはないな

きつとぼけた顔しながら何人も泣かせてきたんだろう

こいつがさっきの閃光手榴弾スタングレネードの犯人だろうか

おそらくこいつが犯人だろう

いや、こいつが犯人に違いない

てゆうか犯人ということにしよう

よし、あとで閃光つながりシャイニングワイヤードで閃光魔術をかましてやろう

ついでに額に油性ペンで巨乳と書くことも決定だな

べ、べつに私情で犯人で決め付けてるわけじゃないんだからね!!

まあそれはいいとして(後でやるから)

問題はこいつらか

そう思いつつ部屋の壁伝いにぐるりとこちらを囲んでいる集団に目をやった

なぜか全員中世にタイムスリップしたような格好をしている

全身を覆う鎧を着て槍や剣を持つ兵士達

絵画から抜け出てきたような貴族風の男女共

きわめつけは

「よつこそ勇者様」

高そうなティアラを頭に付け金持ちがでかいパーティでしか着そうのない

ドレスを着たいかにもな王女サマっぽい女だった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4287z/>

さあ人生を楽しもう

2011年12月14日21時49分発行